

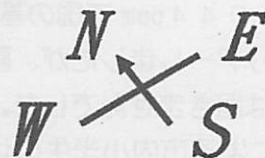
藤沢

2015年7月1日

第254号

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット



主
な
記
事

- ・「海の中から地球が見える」
- ・大気汚染調査報告 ・フォトネイチャー湘南
- ・市民による発電と消費のネットワークづくり
- ・気象情報 ・放射能測定値

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/
事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳
☎/FAX 0466-87-4922

「国破れて山河あり」に、なるのかな？

70年前、戦争が終わって海外からたくさんの人々が帰ってきました。ガリガリに痩せ、シミだらけの服をまとっていました。当時ぼくは県立横須賀中学の2年生、横須賀の街で、夜も昼もその人たちに会いました。

でも、その人たちはまだまだ幸せだったんです…？

栄養失調のまま復員船にぎゅうぎゅう詰めに詰め込まれ、赤痢、コレラの伝染病が船内で発生という状況で相模湾に入ってきた日本兵もたくさんいて、毎日次々と亡くなっていきました。

「富士山が見えるところまで帰ってきたんだ。母ちゃんや坊やに会えるんだぞ。死ぬな！死ぬなあ！！」の叫びもむなしく力尽きていきました。

戦後間もなく映画「戦争と平和」にも池辺良たち兵隊が帰ってくる場面があり、バック・ミュージックに「幾とせ故郷来てみれば、咲く花 鳴く鳥 そよぐ風」が流れました。見渡す限りの焼け跡に立って、でも「国破れて山河あり」と何度しみじみ思ったことでしょう。それから私たちは希望を見つけ目的を明確にしてきたのです。

チャールトン・ヘストン主演映画「猿の惑星」を観ました。間違った歴史を繰り返す人類。でも地球が恋しくてヘストンは浦島太郎のように帰ってきます。たしか、ここは懐かしいニューヨーク。でも砂漠しか見えません。夢中になって砂を掘ります。出て来たのは「自由の女神」像のかけらでした。彼は人類の歴史を知って泣くところで映画は終わります。

いま、安倍内閣は「憲法法案」で我が国を守ろうとしています。それで、国民をだますのに北朝鮮のことを使いミサイルで攻めてきたとしても、その後の処置に困るのは日本よりも北朝鮮の方だと思います。山河を守るのに「戦争法案」よりも「憲法9条」の方が適していると考えます。日本国の主権者、国民一人ひとりが歴史の舞台に立つときです。

(不戦兵士・市民の会 保坂治男)



藤の花の蜜を吸うハチ 矢板氏提供

大気汚染調査報告

藤沢の空気を考える会がまとめた市民による二酸化窒素 (NO₂) 調査結果、2014 年 12 月分がまとめられました。平均は 0.044 ppm で国の基準値 (0.04~0.06ppm 以下) をクリアしましたが、藤沢市の目標値 (0.04 以下) には届きませんでした。

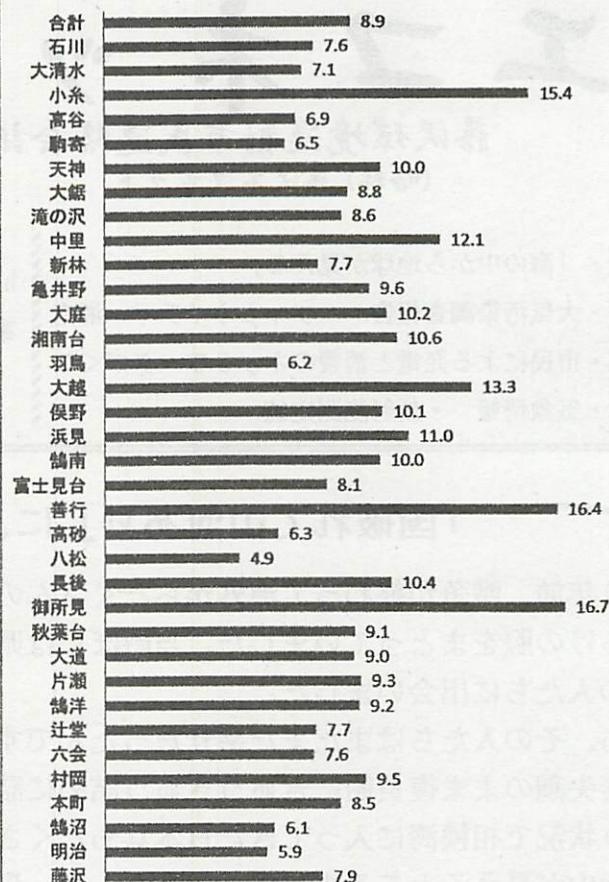
また学校保健統計による市内小学生のぜん息の罹患率を小学校別にグラフにしました。御所見小、善行小、小糸小などが 15%以上の高い罹患率です。(青柳)

藤沢市NO₂測定結果の地区別集計(藤沢の空気を考える会)2014.12

	件数	道路沿い	件数	非道路沿	件数	合計(平均)
1 片瀬	4	0.056	3	0.059	7	0.057
2 鶴沼	11	0.066	5	0.018	16	0.051
3 辻堂	12	0.051	3	0.022	15	0.045
4 村岡	15	0.042	9	0.030	24	0.038
5 藤沢	6	0.105	4	0.033	10	0.076
6 明治	5	0.049	3	0.034	8	0.044
7 善行	4	0.027	0		4	0.027
8 湘南大庭	14	0.051	1	0.047	15	0.051
9 六会	0		3	0.018	3	0.018
10 湘南台	7	0.027	5	0.018	12	0.023
11 遠藤	0		11	0.021	11	0.021
12 長後	0		0		0	
13 御所見	7	0.081	9	0.028	16	0.051
全地域(平均)	85	0.055	56	0.027	141	0.044

藤沢市内小学校ぜんそく罹患率(%)

2014年度学校保健統計より



市民による発電と消費のネットワークづくりをめざそう！！

2016 年 4 月からは、一般家庭でも東電以外から電力を自由に購入できることになりました。藤沢市は 3 回の「藤沢市エネルギーの地産地消検討会」を経て、この 2 月議会で「藤沢市エネルギーの地産地消推進計画」を策定しました。

このような中で、地産地消エネルギー藤沢市民の会 第 1 回総会が 6 月 21 日(日)に日大生物資源科学部内で行われました。

「藤沢市エネルギーの地産地消プロジェクト検討委員会委員」であった日大生物資源科学部教授糸長浩司氏が「藤沢市における市民主体のエネルギー協同組合をめざして」と題して記念講演を行い、再生可能エネルギーについて諸外国の取り組み、国内の取り組みを紹介しました。さらに、本市の「エネルギー地産地消推進計画」の重点プロジェクト 1~5 を取り上げ、特に、その重点プロジェクト 5 「市民主体型市民発電所づくり」について課題を提起しました。

その後、総会で、2014 年度活動報告、2014 年度決算報告、基本構想・基本計画及び活動方針、2015 年度活動計画が議

論されました。さらに、2015 年度予算、会則の検討及び役割分担が承認され、代表に宮地俊作、副代表に黒田亘氏・吉野由美子さん、事務局長に石井世悟氏を決定。その後、組織運営部会と技術部会に分かれ、協同発電所の候補地、市民主体の設立形態、財源問題(匿名組合契約による市民ファンド型か、ミニ公募債型)、新電力(PPS)の活用、エネルギー自立型のエコハウス、農地・駐車場でのソーラーシェアリングのモデル設計と事業計画の策定など具体的活動を進めて行くことになりました。

以上のことからエネルギーの地産地消をすすめるために、様々な分野の専門家、実務経験者等多くの市民の参加を募り、「分散型メガソーラー」を実現する市民協同発電所づくりをめざすことになりました。

次回定例会は 7 月 25 日(日) 14:00~16:00,

場所: (ゆっくり庵の予定)

(文責 宮地俊作)

「海の中から地球が見える」

イベント主催 武本 匡弘

沖縄の海に関わってあっという間に30数年がたちました。

あの沖縄戦の後、米軍の戦車とブルドーザーによって踏み荒らされ、返還後は“本土並み”のかけ声の下で、政府による環境破壊、地球規模での気候変動などの影響によるサンゴの死滅。

そして今、辺野古は再び戦場にされ、人も自然も蹂躪され続けています。

海を通して沖縄と深くかかわったことは、「どんな仕事であれ、人は決して社会と乖離して生きていくことは出来ない」と言うことを教えてくれたのです。

地球上には美しい海より死に直面している海の方がはるかに多いという事実があります。

そして、人も自然も一瞬にして破棄してしまうのは戦争であり、原発も今やエネルギー問題なんかではなく核を取り巻く人類恒久の平和の問題であるという事が解っています。

しかし、問題は知っている人よりも、知らない人の方が圧倒的に多いという現実、真実を知ろうとする人々をいかに増やしていくか？

僕のイベント、ライフワークは常にこれがテーマであり、長い道のりであると覚悟しています。

今回、山秋 真さんとの仕事で気が付かされたことは、珠洲も祝島でのことも長い道のり、困難な壁を乗り越えながらも、その作業の中には必ず人との出会いがあり、丁寧な人との関わりがいかに希望の礎になり得るか…と言うことでした。

彼女の本からそれを見出すことができました。

何を隠そう、小金井と藤沢でのイベントに向けて何とのべ13時間に渡る打ち合わせ、議論などを行いました。もしかしたら参加して頂いた方々よりも自分達の方が勉強になったかもしれません。

真実を伝えるには多様な方法がありますが、劇場に身を置く人の心の動き、感性の共鳴などを通して伝えたいと思い「ふるさとにはポイズンの島」と言う舞台を上演します。(7/17 藤沢市民会館小ホール 19:00)

ダイバーとして美しい海を案内するような気持ちで劇場に案内し、共感を伝えたいと思っています。

第25回フォトネイチャー湘南 写真展

フォトネイチャー湘南は、市民9名の小さなサークルで、各自、思い思いのテーマを持ち、各地の自然をカメラにおさめています。

中には、セミプロ級の腕前の会員もいます。今回も自然をテーマにしたなかなかの力作揃いです。毎月藤沢市民会館の会議室で例会を開き、交流をしています。会長大井令一氏、事務局矢板安彦氏です。

今年の写真展を見た参加者の感想は、大きな鯨をくわえたカワセミの写真が印象的でした。

また、訪れた方には作品を絵ハガキにしたおみやげがあり、話題を呼びました。

今年も、作品の絵ハガキをおみやげに用意しています。是非、会場にお越しください。

第25回 フォトネイチャー湘南 写真展

会期：7/28(火)～8/2(日)

時間：10:00-19:00 但し、最終日は15:00まで

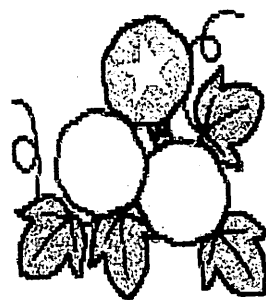
場所：藤沢市民ギャラリー (藤沢ルミネ 6階)

内容：いずれも自然をテーマにしたもので、エコネットの読者の皆様には興味深いものばかりと思われるます。
矢板 安彦

2015夏ふくしまっ子リフレッシュ in 湘南&こどもの国

第7回目のリフレッシュ活動は 7/30～8/3 に行います。すでに応募には40人の親子が参加を希望。こどもの国で2泊、日大宿舎で2泊して湘南で夏休みの体験をし、リフレッシュします。福島は放射能は除染したからといってもまだまだ湘南に比べ高い状態です。健康を案じての保養に、学校の休暇ごとに出かけている福島の親子にとって私たちも負担の少ない、そして心地よい保養になればと気配りしながらすすめています。どうか暖かいご支援をお願いいたします。ボランティアも大歓迎です。

(福島の子どもたちとともに・湘南の会 代表青柳節子)



海陸風と大気汚染物質

(気象情報 4月10日作成)

晴れた日の湘南地方では、よく海陸風が発生する。NPOで観測をおこなっている藤沢AWS (<http://citywatch-net.sakura.ne.jp/AWS/>) のデータをみると、午前中から昼にかけた海風(風向:南)と日没ころから夜半にかけた陸風(風向:北)が交替する日が時々ある。藤沢市周辺で暮らしている私たちにとって、海陸風は生活環境の一部になっているように思う。

海陸風は日の出と共に陸地が海より効率よく暖まり、地形の効果も重なって上昇気流が発生する。するとこの運動を補償する流れが生じ、海から内陸に海風が浸入する。一方日没ころになると、今度は陸地が海より早く冷えて地表付近の空気を冷やし、低温になった地表付近の空気が陸風となって吹く。

藤沢市で海陸風がよく発生する理由は、海岸線を境にして海と陸がほぼ均等に広がっているためである。海風の先頭には前線ができて時刻と共に内陸へ移動する。京浜地帯など沿岸部に工業地帯を控えた地域で典型的な海風が発生すると、発生した大気汚染物質が信越方面まで運ばれる。陸風に交替すると、大気汚染物質は再び発生地帯の上空へ戻ってくることが知られている。

(林 陽生)



放射能測定値

市民が計測しました
(HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$)
雨の日は数値が高めです。

6月5日小雨

藤沢市役所新館前地上 10cm 0.077

同 地上 50cm 0.073

藤沢市役所防災センター前 0.051

6月28日 夕方小雨

大庭マンション 1階 0.072

5階 0.051

10階 0.036

ECONET INFORMATION

演劇「ふるさとはポイズンの島」

7月17日(金) 19:00 開演 入場料 3000円

藤沢市民会館小ホール

主催「ふるさとはポイズンの島実行委員会」

チケット申込み 080-2755-1032

第3回 石けんまつり

7月11日(土) 12:00-15:30

藤沢名店ビル6F イベントホール

主催藤沢市石けん推進協議会

Fax: 0466-81-3219



地球交響曲第八番 上映会

7月24日(金) 18:30~ 1000円

7月25日(土) 12:30~ 2000円

龍村仁監督の講演・チェロ演奏

藤沢市民会館大ホール

主催: ガイアネットワーク湘南 080-9383-6281 清田

原爆展 ~展示 アニメ上映~

7/21(火)~23(木) 10:00~

ユーコープ湘南辻堂駅前店

主催: ピースリレー・ふじさわ 090-9239-0864

藤沢エコネットから

◆放射能基準値の安全性などの連続講座を9月ごろ予定しています

◆会員募集=年会費・購読料→3000円

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 79* 79* ネット

◆事務局会議 7月9日(木) 10:00~
市民活動推進センター

《編集後記》憲法 21 条「集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保証する。」

戦後確立した民主主義の根幹である表現の自由の重みを噛みしめたい。最近マスコミを懲らしめるとかつぶすなど物騒な言動が出てきた。戦争と言論弾圧は切っても切れない仲なのだと改めて思うこの頃である。(A)